

その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。(ルカによる福音書2章8節～11節)

ブルー・クリスマス

安部 勉 (淀川キリスト教病院 チャプレン)

ある土曜日の午後、静かなチャプレン室のドアを小さくノックする音がしました。ドアを開けると、私と同世代の方がおられました。チャプレン室に勇気をもって訪ねてこられたことと思います。

「お話をしてもよいですか」

今の気持ちを噛みしめるように、寂しさと悲しみ、そして、希望を見出せない思いを語られました。

お話を伺いながら、私の心の中に批評家・若松英輔の言葉が甦りました。

「人はしばしば、別れなき生活を望む。しかしそこにあるのは、真の出会いなき人生かもしれない。出会いが、確実にもたらすのは別れである。むしろ、出会いだけが、別れをもたらし得る。出会いとは、別れの始まりの異名なのである。

だが、離別という悲痛の経験は、誰かと出会うことがなければ生まれえない。誰かを愛することがなければ、別れと呼ぶべき出来事は、起こらない。別れとはけっして消えることのない新しき邂逅(かいこう)の合図なのではないだろうか。」

「それぞれのかなしみ」 若松英輔 (2017年3月12日 日本経済新聞朝刊)

若松英輔さんも訪ねてこられた方と同じ経験をした一人でした。彼は先のエッセイの中で次のように記しています。「同情は、心ない言葉によって表現され、人を傷つけることが少なくない。だが、真に憐れみを感じる時人は、それを沈黙のうちに表し、相手もそれを沈黙のうちに受け取っている。」

私は沈黙のうちに若松英輔さんの言葉がその方の心に届くことを願いました。

クリスマスの前に、喜びを待ち望む声が聞こえます。一方、コロナ禍にあって「喜びを分かち合う」ことの難しさも覚えます。世界中でコロナによって旅立たれた方は、9月末で475万2,875人という統計がありました。今年のクリスマス、「いつものクリスマスの賑わい」が戻ってくるのでしょうか。

「ブルー・クリスマス」という言葉を聞いたことがあるのでしょうか。遡ればエルビス・プレスリーのクリスマスソングにありました。なお、最近ではクリスマスシーズンに「ブルー・クリスマス」をテーマにした礼拝を守る教会があります。

「去年のクリスマスと一緒に祝った人が今年はいない」クリスマスは喜びと心温まる思い出の時。喪失を覚える中に「喜びの場面」はより悲しみと寂しさを覚えます。

「ブルー・クリスマス」は「悲しみと寂しさの中にある友と救い主の到来を分かち合う礼拝」です。悲しみと寂しさの中に光として到来したと聖書は示します。神は人に同情するのではなく、人の思いを我が事とするために来られるのです。

クリスマス、悲しみと寂しさの中にある一人ひとりに「私は共にいる」との神からのよき知らせが伝わるよう祈ります。

チャプレンとは、教会以外の場での牧師の働きです。病院では主に患者さんの傍らに赴き、思いを受け止めたり、慰め、祈りを共にします。

韓国市民社会を知り、日本市民社会を考える プロジェクト

オンラインカフェ第2回は9月25日(土)に開催。ゲストスピーカーに康宗憲さん(韓国問題研究所)を迎え、第1回目での疑問に答えていただきながら、映画『共犯者たち』の背景や韓国市民社会について話していただいた。その中で「民主主義は常に育てていくものであり、そのためには無関心であってはいけない。」という言葉に励まされた。



長尾有起さん



矢野百合子さん

日本の報道では誤解や誤訳が生じていること」を話してくださった。それらのお話からリアルな韓国市民社会を垣間見ることができた。

3回のオンラインカフェを通じて参加者からは、「韓国でこんな民主主義の闘いがあったことを知らなかった」「ゲストのリアルな話を聞いて、実際の韓国事情がよくわかった!」などの感想が寄せられた。韓国社会を学び理解し、日本の社会について考えるという、このプロジェクトの目的に少しでも近づいたのではないかなと思う。

(野村 春美)

● 居住支援セミナー

9月22日(水)、「不動産事業者の思い、居住支援法人に期待すること」と題して、マルサ不動産代表取締役社長の坂部叔子さんを講師に、居住支援研修会を開催した。神戸市や社会福祉協議会など、支援に携わる人々が参加された。

「仲介」「賃貸管理」「連帯保証人」など不動産業の基礎知識や、「貸したいけれど、問題が起きると困る」という大家さんの思い、孤独死や火災、近隣トラブル、家賃滞納などのリスクについて話を伺った。

居住支援でできることには限界があるが、相談に来られた方が住居を確保し、安心して住み続けることができるよう、今後とも不動産事業者や福祉関係者と連携しつつ支援したい。

(寺内 真子)

● 世界 YMCA・YWCA 合同祈禱週

今年の世界 YMCA / YWCA 合同祈禱週(11月7日~13日)は「こわれたものからの美しさ」というテーマのもと、世界中で祈る1週間となった。11月7日(火)、神戸 YWCA を会場に合同祈禱週礼拝が持たれ、オンライン配信もおこなった。

日本キリスト教団芦屋西教会の若林一義牧師より、「壊した関係の中で許されて生きる」と題した奨励をいただいた(聖書箇所は創世記2章4節~9節、15節~25節)。

礼拝後は神戸 YMCA と神戸 YWCA の互いの活動の近況を報告した。

緊急事態宣言が解除され、会場の参加者が久しぶりに対面で集うこと

のできたうれしいひとときだった。参加者は両団体の会員、職員等34人。



まごの手ヘルパー徒然記

階段を上って2階の家に住んでいた90代の独居女性 M さんは、ヘルパーが家の中で仕事をするのに抵抗があり、「ヘルパーさんにそこまでさせるとバチがあたる」「私がやるから、せんでもええ」と仰っていた。しかし、Mさんが膝を痛めていてしんどそうなのは明らかで、「できれば手伝いをさせてもらえたら」とヘルパーや私は思っていた。

Mさんは沖縄にルーツを持ち、戦後すぐの時期、家族を養うためにメイドとして働いていた。そのときの経験は詳しく語らなかったが、「雇い主はいい人やったけど、とてもしんどかった、つらかった」と話していた。ある日ふとこう思った。もしかしたら M さんはヘルパーに、かつての自分たちの姿を



重ね合わせ、気遣ってくれていたのではないかと。

その後 M さんは自宅で転倒し入院、施設入所となった。入院中も「自分が入院して仕事がなくなってしまって、ヘルパーさんは大丈夫か」といった気遣いをケアマネジャーに話していたそうだ。利用者がなかなか環境改善を任せてもらえず、ヘルパーには現場で苦勞をかけたと思うが、利用者の思いを尊重して関わってくれて、本当に感謝している。

(まごの手職員・藤井かえ子)

生活支援わいわい



「ちょっとしたお手伝いが得られたら、その人らしい生活が送れるかもしれない」、そんな気持ちから生まれた「生活支援わいわい」。今年度から徐々に試行し、9月からは神戸YWCA会員・会友と、神戸YWCAにかかわる方を対象に活動を始めています。

これまでの依頼はトイレ掃除、窓ふき、服の整理、庭の雑草抜き、荷物の運搬などがあり、須磨区から芦屋市までの地域で活動しました。同じ内容を継続して申し込まれる方、

単発の方など様々です。これからも支え合いの輪を広げていくために、メンバーを募集しています。サービスを利用する方も提供する方も、メンバーとして仲間に加わっていただきます。お問い合わせ・お申し込みは、神戸YWCA (078-231-6201) までお願いします。(塩見 洋子)

Peace Bridge ピースブリッジ



神戸YWCA「ピース・ブリッジ」は小さなグループですが、他団体・グループの平和を願う人たちとつながり、協力して平和を築くことを願って、数年前に設立しました。

私たちの「学び語り合いつながる会」は毎回テーマを設定して、阪急六甲駅近くの喫茶店で、既に10回催しています。10回目には「ジェンダーの視点からみる学校教育の現状と課題」と題して、大阪大学大学院で研究されている近藤凜太郎さんに語っていただきました。

その後はコロナ禍で休会中ですが、近藤さんなど数人に「ジェンダー」をテーマにエッセイを書いていただき、2021年9月『ピース・ブリッジだより No.2』を発行することができました。

実際に「出会い語り合う」ことは大切ですが、それができないときは、書いたり読んだりすることでも、つながることは可能だと考えています。平和を願う心は、きっとつながると信じて……。

(寺沢 京子)

◆ 会員の皆さま ◆ 次期運営委員・指名委員 候補者推薦のお願い

成人会員(18歳以上)の中から、次年度の運営委員・指名委員候補者の推薦をお願いいたします。運営委員の任期は1期2年で連続3期まで再選可能です。指名委員は任期が1期1年で、成人会員から3人、運営委員から2人が選出され、次年度の運営委員・指名委員候補者を選考します。推薦締切:2021年12月28日(火)
(指名委員会)

2022年度 標語聖句募集

来年度の活動の指針となる聖句を募集しています。メール・FAX・郵送などでお届けください。締切:2022年1月7日(金)
(運営委員会)

子ども日本語トータル サポート募金 報告

2021年6月1日から9月30日までに、163,770円の募金が集まりました。多くの皆さまのご協力に感謝いたします。なお、募金期間を2022年3月31日まで延長し、引き続き募集しています。ご支援くださいますようお願い申し上げます。

【募金の使途】

- ・夏休みの「勉強に役立つ日本語」プログラムの運営費
- ・4月から月1回程度開催している「はっぴー・さぼーと」「はっぴー・すくーる」の運営費
- ・子ども向け日本語ウェブ教材開発

神戸YWCA 夏季募金 報告

期間: 2021年8月1日~10月31日
募金総額: 409,360円
ご協力くださいました皆さまに心より感謝申し上げます。

2021年度 神戸YWCA 定期会員集会

2022年3月12日(土)

*詳細は後日ご案内します。

「朝日新聞歌壇」より
幾重にも畳みて
ホームレスは持つ
ワクチン集団接種のチラシ
(中尾 廣美)

この渦中であつて「人」を大切にしてきたYWCAの「手引き」を読み返してみた。「自発的な意思で参加し、自由な立場で発言し理解を分かち合う」遠い日々、誘われるままに参加した会で一言も発せない私に、一言を待つてくださった先輩方の心を思い出す。YWCAの活動に応援歌を送り続けたい。

思いもかけな
かった疫病「新
型コロナウイルス」
に世界中が怯えている。ワク
チンの効果を待つばかりだが、
三密を避け、人はマスクの向
こうへ退き、「黙食」「黙乗」
など新しい言葉と新しい環境
を与えられてしまった。言葉
のキャッチボールを忘れはし
ないだろうか、恐れたりす
る。言葉で伝えることの大切
さを大事にしたいと願う。子
どもたちが大きな声でふざけ
あい、青年たちが話しあう、
そんな日が近いよう祈らずに
はいられない。



思いもかけな
かった疫病「新
型コロナウイルス」

神戸YWCAへの おさそい

神戸YWCA分室

神戸市中央区坂口通 5-2-16 tel. 078-221-5111

*新型コロナウイルスの影響により、予定が変更されることがあります。

●カフェもぐもぐ 分室

若年性認知症の人と仲間たちのカフェ。
12月4日(土)、1月8日(土)
10時30分～
参加費 700円(食事付)
要予約、詳細はお問い合わせください。

●わいわい食事会 分室

12月17日(金) 10時30分～12時
①今どきの流行りもの「コロナ感染～1年の
ふり返り」②ピアノ演奏
参加費 700円(要予約)

●木曜カフェ 分室

12月9日(木)、1月13日(木)、27日(木)
14時～15時30分
ゆっくり音楽を聴きながらほっこりカフェ
(1ドリンク100円～) *食料品の販売はありません。

●もっと知りたい! 街なか養蜂

12月18日(土) 16時～18時
開催方法 ①神戸YWCA会館5階
②オンライン(Zoom)
ゲスト 春井勝さん(養蜂コンサルタント)
詳細はHPをご覧ください→ <https://bit.ly/3lel6Fp>



冬季 休館

2021年12月25日(土)、29日(水)～2022年1月5日(水)まで(まごの手・保育園を除く)

冬季 クリスマス 募金

にご協力ください

郵便振替

01100-0-10298
公益財団法人神戸YWCA

*通信欄に「冬季クリスマス募金」とご記入ください。

10月30日第5回理事会開催。出席理事8人、監事2人。2022年度以降の新事業も含めた体制案を協議したが、同案は非承認となった。その結果、2022年3月末日をもって分室は貸主へ返却することとした。

(総幹事・西本 玲子)

賛助員

平木 貴美子
モーア ウィリアム(敬称略)

新入会員

山崎 恵 前家 裕美
本岡 聡子 原田 いづみ
本山 美登利(敬称略)

編集後記

緊急事態解除! 神戸YWCAがコロナ禍で取り組んだ新しい形が、次の年度に生かされると嬉しい。(S・T)

神戸YWCA分室についてのお知らせ

阪神淡路大震災以後20年もの間、神戸YWCAの地域福祉活動の拠点として親しまれてきた分室(中央区坂口通)は、貸主にお返しすることになりました。分室での活動は2022年3月末日をもって終了いたします。支えていただいた皆さまに感謝いたします。今後のスケジュール等は追ってお知らせいたします。(理事会)

● 学院だより

土曜日の会館で、子どもの楽しそうな英語の音が響いてくる。ネイティブ顔負けの発音に、思わず聴き入ってしまう。あなたにピッタリのプライベートレッスンをアレンジします。お問い合わせください!(外国語コース・秋月 啓子)

● 分室だより

長年神戸YWCAの活動を支えたオレンジ色の「分室号」が、とうとう廃車になりました。さよならの日には、ボランティアメンバーたちが、思い思いに感謝の言葉を車体に見送りました。ありがとう、分室号!(塩見 洋子)

● まごの手だより

まごの手には、①居宅介護支援(ケアマネジメント)②訪問介護(ヘルパー派遣)③居住支援④生活支援わいわい、の4つの事業部門がある。2019年度から居住支援が、2021年度からは生活支援わいわいがまごの手に加わった。まごの手がこれまで築いてきた地域ケアのネットワークを生かして、4つの部門が有機的につながることをめざし、支援を必要としている人々の

生活を支えていきたい。
(所長・寺内 真子)

● 保育園だより

「おかえり!」保育室に入った途端、こう言われます。何時に保育室に行っても「おはよう」とにこやかに迎えてもらえます。なんだか芸能人になった気分。

保育室でずっと遊んでいると、「えーっ、きょうはいっしょにあそべるの?」「にかいのおしごとはいいの?」仕事量まで子どもたちに心配されているこの頃の園長です。

(園長・梅川 玲子)

● 運営委員会報告

10月9日、第8回運営委員会開催(ハイブリッド)、出席7人【報告】●日本YWCA●LA●理事会●各委員会・グループの活動報告●夜回り準備会【研修】予算の立て方【議事】●組織検討(組織浸透委員会からの提言)●今後の運営委員会スケジュール

11月6日、第9回運営委員会開催(ハイブリッド)、出席7人【報告】●日本YWCA●LA●理事会●各委員会、各グループの活動報告●兵庫の「語りつごう戦争」展に「神戸YWCA」として呼びかけ人に

加わった【研修】神戸YWCA現財政報告【議事】●2022年度神戸YWCAビジョン・活動目標●進捗報告会●2021年度定期会員集会の開催方法(書記・岩切 幸子)

● 理事会報告

9月18日第4回理事会開催。出席理事8人、監事2人。調査委員会設立の件について協議し承認された。新事業案に即して補助金申請を検討したが、同案では申請しないことを決定した。

クリスマス ギフトセット

YWCAオリジナルチャリティードリップコーヒーと、はるい蜂蜜のラスクがセットになったギフトボックスを30個限定販売! 地方発送いたします。

ドリップコーヒー7袋 +
Glück (@gluckgluck.gluck) さんの
ラスク1袋 **¥2,000**

お問い合わせ・ご予約:
ファンディング実行委員会
(担当・秋月)

ホームヘルパー募集

誰もが地域の中で自分らしい暮らしをおくるために、担い手となって働きませんか。

◆ホームヘルパー

常勤 月給 198,100円～
パート 時給 1,100～1,200円
登録型 時給 1,000～1,400円

*担当・寺内までお問い合わせください。

◆生活支援訪問
サービス従業者 900円/回

神戸YWCA
まごの手

☎078-231-3156



シャマイム

担当者 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)



0120-41-1059 (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます

西宮市段上町2丁目13-2

URL: <http://sanosousai.com>